

# 株主通信

## 平成26年度報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

第67期

- ご挨拶・連結財務ハイライト
- 連結決算の概要
- 単体決算の概要
- ピーエス三菱グループのCSR活動
- トピックス（技術）
- トピックス（土木）
- トピックス（建築）
- 完成工事（土木）
- 完成工事（建築）
- 会社情報
- 株式情報

平成25年度与根高架橋上部工（下りA1～P8）工事（沖縄県）





## CONTENTS

- ご挨拶・連結財務ハイライト…… 1・2
- 連結決算の概要…………… 3・4
- 単体決算の概要…………… 5
- ピーエス三菱グループのCSR活動 ……6
- トピックス（技術） ……7・8
- トピックス（土木） ……9
- トピックス（建築） ……10
- 完成工事（土木）…………… 11・12・13
- 完成工事（建築）…………… 14・15・16
- 会社情報…………… 17
- 株式情報…………… 18

### ●表紙の説明

与根高架橋は、地域高規格道路「沖縄西海岸道路」の一部となる延長約4.0kmの豊見城道路の高架橋で、本工事は与根高架橋の起点側、橋長126mの橋梁上部工工事です。

豊見城道路は周辺地域の渋滞緩和はもとより、那覇市や那覇空港と県南部地域とのアクセスを強化し、「南部地域の活性化」「物流効率化」「観光交流」を支援するために整備が進められています。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、政府による経済対策等が景気を下支えしている事もあり、業種や規模での濃淡はあるものの、企業収益は改善基調が続いております。また、企業の収益力回復に伴う所得拡大への波及、雇用環境の改善、株価の上昇等を背景に、企業の設備投資や個人消費についても、総じて回復基調を辿っております。

建設業界におきましては、建設投資は前年度比マイナス見込であるものの、震災復興・再生等の公共投資の持続、国土強靱化政策、防災・減災対策およびインフラ老朽化対策等の建設需要や、景気回復に伴う民間設備投資が堅調であり、高い水準で推移すると予測されます。更に、東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえた首都圏を中心とする再開発事業やリニア新幹線の工事着手等の交通インフラの拡充、全国的な高速道路の大規模修繕・更新等の大型プロジェクトが予定され、中長期において一定の建設需要が見込まれる環境にあります。



### コーポレートマーク

生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。

その反面、現場技能労働者の慢性的な不足と、昨今の資機材の値上げによる建設コストの高騰は、採算悪化や工期の遅れ等につながる懸念材料となっており、引き続き予断を許さない経営環境にあります。このような状況のもと、当社はPC（プレストレスト・コンクリート）技術を基軸とした総合建設業として、橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木事業」と民間工事を中心とする「建築事業」を2本柱として、PC技術の適用範囲を広げて新しい分野を開拓することで、他社との差別化を図り「我が国トップのPCゼネコン」を目指し、基本理念である「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」に基づき、引き続き社会資本整備に貢献したいと考えております。

土木部門においては、橋梁事業を主軸とし、総合評価落札方式の対応を強化しながら、非橋梁・メンテナンス部門の拡大を目指し、既存構造物の長寿命化や補修・補強工事等に関する施工技術の高度化を図り、他社に対して優位性を確立してまいります。

建築部門においては、PC建築の更なる普及を目指し、PC技術を取り入れた企画や提案型の受注に注力してまいります。

また、海外事業につきましては、PC工場があるインドネシアとベトナムを中心に成長する新興国市場に対して、工場製品を軸としながら建設工事も視野に入れた事業展開を目指してまいります。

更に将来において、社会インフラが更新期を迎え、新設工事からメンテナンス需要が中心になる事業環境に備えて、ピーエス三菱グループ経営の連携強化を図り、グループ一体となって、補修・補強分野等の事業領域の裾野を広げていくことを目指してまいります。

昨今の建設業界の課題である技能労働者不足を解決する方法の一つとして、工場で製作するPCa（プレキャスト）部材の活用が大変有効であり、環境負荷低減や工期短縮に寄与できるメリットもある等、PC工場や仮設機材等を有している当社グループが活躍できる分野は数多くあります。当社グループ全体でコスト競争力を高め、これからもコンプライアンスを徹底して、健全経営に努め、積極的な社会貢献を行ってまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
社長執行役員 藤井敏道

## 連結財務ハイライト

売上高

**1,049億6**百万円  
(前期比 0.6%増)

経常利益

**22億22**百万円  
(前期比 40.7%増)

当期純利益

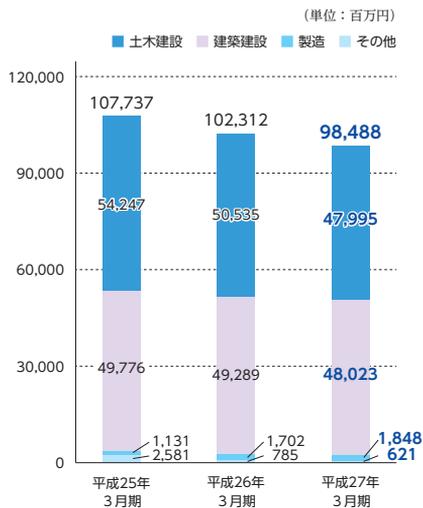
**16億77**百万円  
(前期比 29.4%増)

PC技術のパイオニアとしての誇りを胸に、新たな分野にもチャレンジしてまいります。これからも社会資本の整備と地球環境の保全に貢献する企業として、「ピーエス三菱」は創造し続けてまいります。

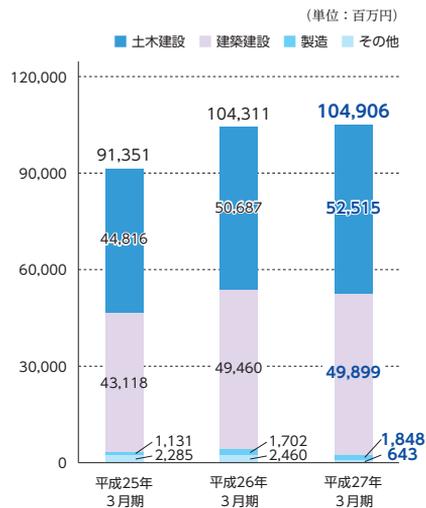


## 連結業績ハイライト

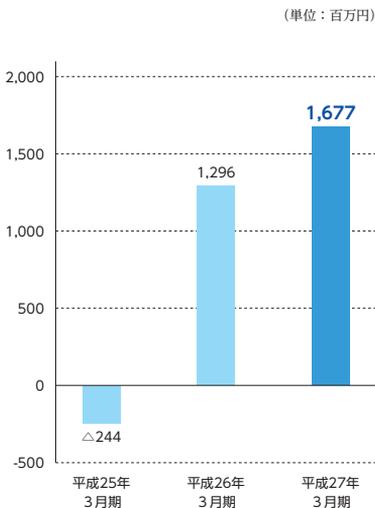
### 受注高（セグメント別）



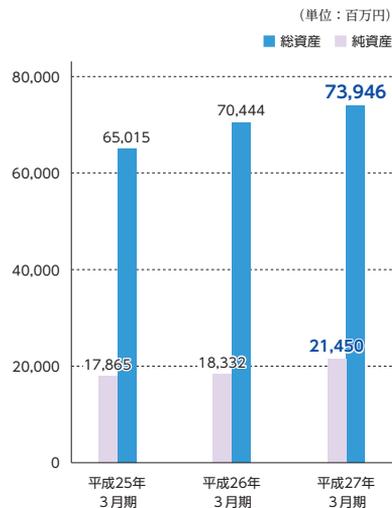
### 売上高（セグメント別）



### 当期純利益



### 総資産／純資産



## 貸借対照表要旨（連結）

（単位：百万円）

	前期末 平成26年3月31日現在	当期末 平成27年3月31日現在
流動資産	54,813	57,001
固定資産	15,630	16,945
有形固定資産	12,400	12,277
無形固定資産	36	36
投資その他の資産	3,194	4,631
資産合計	70,444	73,946
流動負債	45,580	46,350
固定負債	6,531	6,144
純資産	18,332	21,450
負債・純資産合計	70,444	73,946

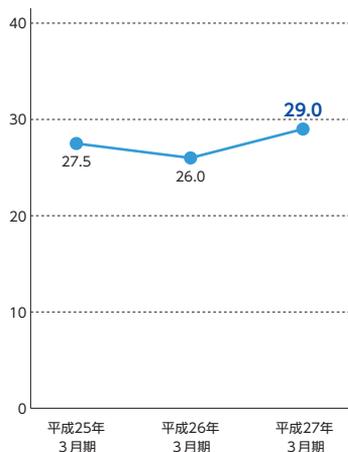
## 損益計算書要旨（連結）

（単位：百万円）

	前期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	104,311	104,906
売上原価	96,277	95,824
売上総利益	8,033	9,082
販売費及び一般管理費	6,329	6,475
営業利益	1,704	2,607
経常利益	1,579	2,222
当期純利益	1,296	1,677

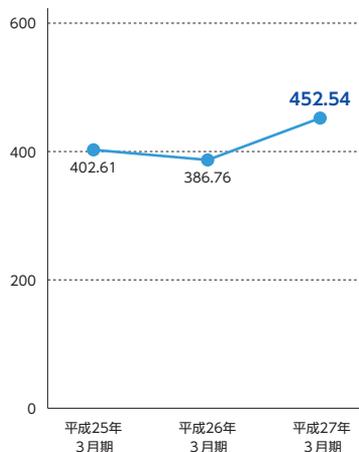
## 自己資本比率

（単位：％）



## 1株当たり純資産

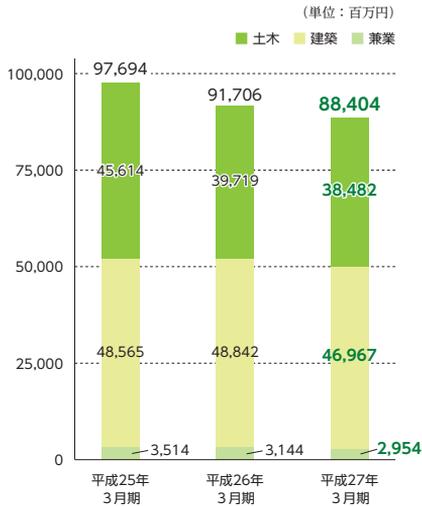
（単位：円）



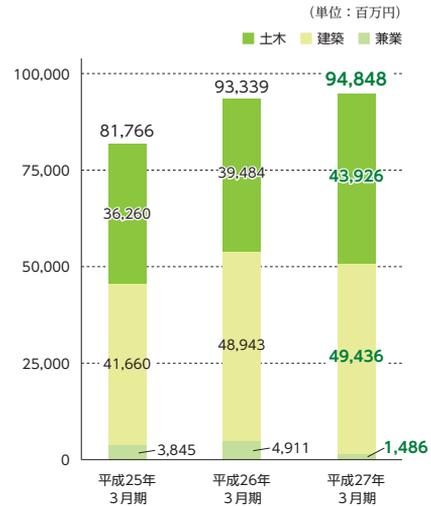


## 単体業績ハイライト

### 受注高 (セグメント別)



### 売上高



## 貸借対照表要旨 (単体)

(単位：百万円)

	前期末	当期末
	平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在
流動資産	48,690	50,951
固定資産	15,299	16,103
有形固定資産	10,416	10,387
無形固定資産	28	27
投資その他の資産	4,854	5,688
資産合計	63,990	67,055
流動負債	40,561	42,072
固定負債	6,037	5,592
純資産	17,390	19,390
負債・純資産合計	63,990	67,055

## 損益計算書要旨 (単体)

(単位：百万円)

	前期	当期
	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
売上高	93,339	94,848
売上原価	87,684	88,030
売上総利益	5,655	6,818
販売費及び一般管理費	5,202	5,304
営業利益	452	1,514
経常利益	545	1,409
当期純利益	857	1,210



## ピーエス三菱グループのCSR活動

当社グループでは、全ての委員会（本社委員会・支店委員会・関係会社各社委員会）が同じCSR目標を掲げてベクトルを合わせ、PDCA（計画・実行・評価・改善）を実践することにより、更なるCSR活動の充実とステップアップを目指して取り組んでおります。

今年度も次の各推進活動において、評価対象項目を定め、四半期ごとに各部署が自己評価を行い、各CSR委員会で審議・評価し、浮かび上がった課題について随時改善を行ってまいりました。

### リスクマネジメント推進活動

下記リスクへの対策として「リスクマネジメント推進活動報告書」を部署ごとに作成し、四半期ごとにCSR推進活動評価表を用いて実施状況を評価することにより（PDCAの実践）、リスクの回避、発生確率の低減および被害規模の低減を図ってまいりました。

- ・厳しい受注環境におけるノルマ達成のために生じるリスク
- ・工事施工における各種リスク
- ・不祥事等が職場内で埋没するリスク

### コンプライアンス推進活動

当社グループでは、毎年10月を企業倫理月間と定め、従業員の法務スキルの向上やコンプライアンス違反事例を教本として全従業員の倫理意識向上を目指し、様々なコンプライアンス活動を実施いたしました。

- ・合同コンプライアンス研修会 10月22日
- ・コンプライアンス誓約書および談合不関与誓約書の提出
- ・コンプライアンス理解度確認テスト（e-ラーニング）
- ・人権研修（表現と人権） 12月9日

### コミュニケーション推進活動

#### ● 現場作業所における社会貢献活動

今年度も工事現場近郊の住民の方々や幼稚園児、小学生、中学生を対象とした現場見学会や技術系の学生の方を対象とした研修会等を42回開催し、更には地域行事に参加する等の活動を行いました。

今後もこれらの活動を通じ、工事に対する理解と建設業に対する関心をより一層高めていただけるよう努めてまいります。

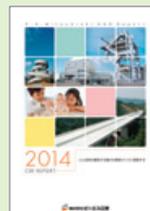
（兵庫県相生市立中央小学校本校舎外耐震補強工事 近隣幼稚園児見学会）



#### ● CSR報告書2014

ステークホルダーの皆様にご覧いただくため、当社ホームページにCSR報告書を掲載しておりますのでご覧ください。

（ホームページアドレス：<http://www.psmic.co.jp/csr/>）



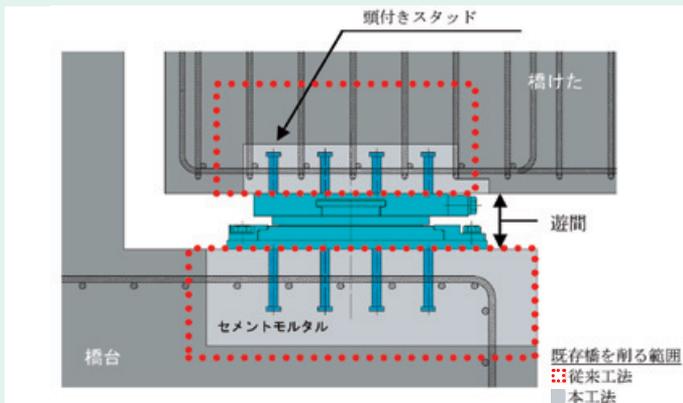


## 支承取り替え技術の開発

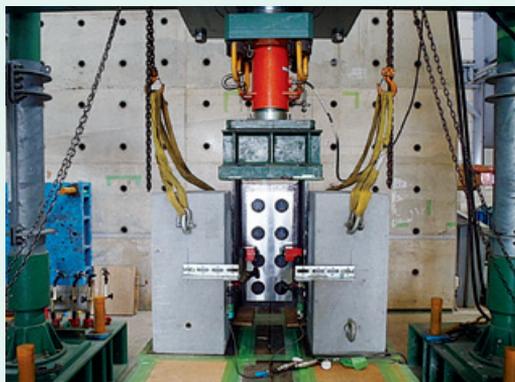
橋げたは支点部の支承装置により支持されています。過去の基準で建設されたコンクリート橋の支承を現行の基準を満たすものに取り替える工事は、経年劣化により低下した機能の回復や耐震性能が向上できるものの、支承をコンクリートに定着するためのアンカーボルトを設置する際、既存橋のコンクリートを大きく削る必要がありました。

そこで既存橋へのダメージを低減し、施工性を向上することに着目し、本研究を行いました。

- ・アンカーボルトに「頭付きスタッド」を用いることにより、コンクリートを削る範囲を減らす構造を考案しました。
- ・性能向上のためにパッド型ゴム支承から水平力伝達機能を有するゴム支承へ変更すると支承自体の高さが増大し納まらなくなるため、近年開発された超小型ゴム支承装置に改良を加え、既設の遊間で交換が可能となる支承を考案しました。
- ・コンクリートを削った後の断面修復用にコンクリートに代わってセメントモルタルを用いることから、モルタルに定着される頭付きスタッドの性能を確認し、支承の設計方法を提案しました。今後は、本工法の優れた特長を活かして大規模修繕の物件にも採用されるよう展開してまいります。



取り替え支承のイメージ図 (側面図)



載荷試験状況

※支承とは

橋梁では、上部構造と下部構造を直接つなげずに変形等を吸収する部材を介して支持することが一般的で、この間に設置する部材のことを「支承」といいます。



支承を用いた橋梁のイメージ図

## 梁主筋を柱梁接合部内で機械式継手により接合したPCa化工法

近年、RC造の施工において、建設技能労働者不足による工期の遅延や労務費の高騰が深刻化しています。この問題に対し、プレキャスト（PCa）化工法は、工場で部材を生産し、現場で組み立てるため、型枠大工や鉄筋工等の技能労働者の配置を減らすことができる有効な手段の一つとなります。PCa化工法における柱・梁の組立方法は数多く提案されており、当社においても既にも実施している方法もありますが、保有技術の多様化を目的とし、柱・梁をPCa部材として工場生産し、現場にて梁主筋を柱梁接合部内で機械式継手（スリーブ継手）により接合するPCa化工法の検討を行いました。

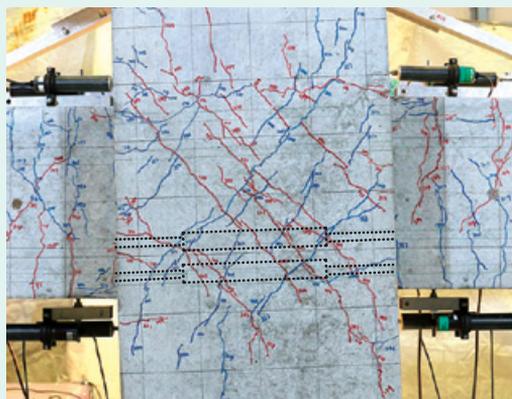
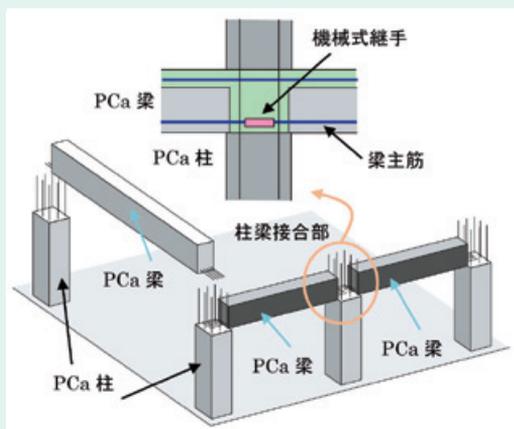
柱梁接合部内では、梁主筋とコンクリートに大きな付着力が要求されますが、スリーブ継手表面には凹凸がないため、付着性状を確認するための構造実験を実施し、継手を用いずに異形鉄筋が連続した場合とほぼ同等な耐力を有し、架構としての変形性能も十分に有していることが確認されました。

※スリーブ継手とは

鉄筋を直接接合するのではなく、特殊鋼材製の鋼管に異形鉄筋を挿入し、モルタルを充填して接合する工法です。



対象とするPCa化工法と鉄筋の機械式継手



実験実施時のひび割れ状況



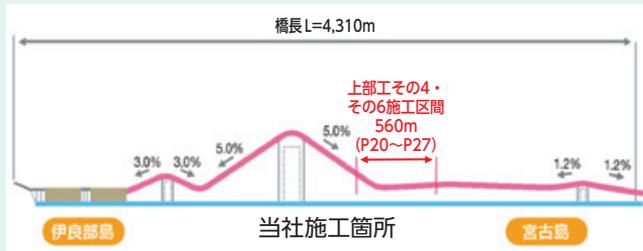
## 一般国道平良下地島空港線 (伊良部大橋) 開通 (沖縄県)

沖縄の離島 宮古島と伊良部島を結ぶ「伊良部大橋」が平成27年1月31日に開通しました。

旧伊良部村が国に申請してから約40年。交通手段がフェリーのみだったこの離島架橋の建設に、当社は平成21年12月～平成24年2月まで上部工560m、またセグメント製作等、様々な形で携わってまいりました。



開通式の様子





### (仮称) 仙台市あすと長町 (26街区) 復興公営住宅新築工事 (宮城県)

本物件は、復興公営住宅の早期供給を図るため、民間企業が有する土地や技術力を活用した建設計画を公募し、適合する建物を仙台市が買い取るという復興事業の一環です。当社の建設計画が仙台市から採用された背景には次の要素がありました。

- 当社の中核技術であるプレキャスト・プレストレストコンクリート (PCaPC) 工法の構造体を採用することで、工期を約40%短縮できること。
- グループ会社ピー・エス・コンクリート(株)北上工場で製作したPCaPC部材は、高品質・高強度であり、かつ、現地にてこの部材を組み立てる工法は、地震に対して粘り強く、ダメージが蓄積しにくいものとなっており、阪神淡路大震災、東日本大震災でもその耐震性能が実証されていること。
- PCaPC部材を工場で製作するため、建設現場での木製型枠の使用が大幅に削減され、地球環境に配慮した工法であること。

更に本物件の現場で出た土壌は、岩手県の三菱マテリアル(株)の工場に運ばれ、セメントの原料として再生されました。このセメントを用いてグループ会社ピー・エス・コンクリート(株)でPCaPC部材を製作し、再び建設現場で利用しました。下図に示す省エネルギー・省資源・廃棄物の削減の循環サイクルを実現しています。



全景



PCaPC梁部材架設状況

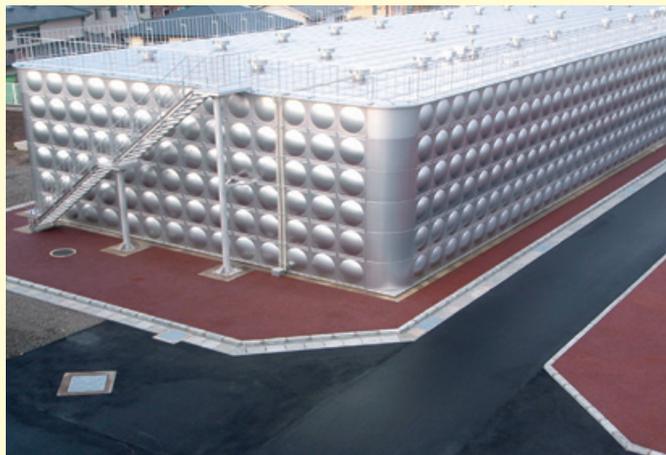




## 完成工事（土木）

### 伊豆島田浄水場耐震性配水池 築造（第2期）工事 （静岡県）

本工事は、三島市水道事業の伊豆島田浄水場（三島市の人口の約2分の1へ供給）の配水池（RC製：1,000m<sup>3</sup>×2池）が約40年経過し、大規模地震への対策が急務であることから、浄水場を機能させながら、新たに耐震性配水池（ステンレス製：2,000m<sup>3</sup>×2池）を築造し、浄水場を更新した工事です。平成23年11月（第1期工事）より2期にわたり実施しました。



### 平成23年度 社会資本整備 総合交付金（活力創出基盤整備）工事 （長野県）

通称「中央橋」と呼ばれる本工事は、長野県飯山市と木島平村、野沢温泉村を結ぶ一級河川千曲川に架かるPCエクストラードズド箱桁ラーメン橋です。

北陸新幹線開通に伴い新設された飯山駅から約1.5kmに位置していることから、道路ネットワークや広域観光分野で重要なアクセス橋梁として期待されています。



**平成25年度 東海環状  
西之川高架橋北PC上部工事  
(岐阜県)**

本工事は、東海環状自動車道の岐阜県大垣市北部に位置する橋長200mのPC 5径間連結コンポ橋工事です。

その内1径間で県道交差点を有しており、大型クレーンによる主桁架設は、当初長時間の全面通行止めが予想されておりましたが、「桁引出し自走台車」との併用により1日30分間程度に時間が短縮でき、交通への影響を低減しました。



**(一)本庄福富松江線  
百足橋原発交付金  
(橋梁補修)工事  
(島根県)**

本工事は、水中コンファインド工法による橋脚耐震補強工事です。

工場製作のプレキャストパネルと水中不分離性コンクリート、PC鋼線を用いて耐震補強を行う、水中における施工でも仮締切りを必要としない工法です。

松江市内には河川が多く流れ、橋梁も多いため本工法を多数ご採用いただいております。





### 平成25年度報得川 高架橋上部工 (下りP12-P15) 工事 (沖縄県)

現在、県内では「沖縄西海岸道路」の建設が進められています。読谷村から糸満市に至る延長50kmの地域高規格道路で読谷道路・嘉手納バイパス・宜野湾バイパス・豊見城道路・糸満道路によって構成されます。

本工事は、豊見城道路の一部であり、4車線化を進めるためのものです。渋滞の緩和、交通の分散、移動時間の短縮といった効果が期待されています。

### 那覇空港誘導路改良工事 (沖縄県)

那覇空港は、3,000mの滑走路が1本のみですが、1日300回以上の発着があり、民間航空機の年間発着回数は国内4番目（平成22年度）となっています。

現在、アスファルト舗装の誘導路は、クラックやわだち掘れが発生し、航空機への影響が懸念されることから、平成19年より継続的な誘導路改良工事が行われており、過密状況を勘案し、施工翌日の使用が可能で耐久性の高い「PPC版工法」が採用されました。





**福島県漁業協同組合連合会  
冷凍冷蔵施設建設工事  
（福島県）  
※PC躯体工事**

東日本大震災で津波被害を受けたいわき市小名浜港に建設された冷凍冷蔵施設です。マイナス60℃の超低温の冷蔵機能を持ち、船上冷凍された刺身用のカツオやマグロ等を保存することができます。

プレキャスト・プレストレスト（PCaPC）造の地上5階建て、延べ床面積約10,000㎡。PC躯体工事を一式で請負い、柱・梁・床版の総重量8,701tのPC部材をグループ会社ピー・エス・コンクリート(株)他協力会社工場1社で製作し、現地にて短工期で組み立てました。



**二子玉川東第二地区第一種市街地  
再開発事業に係る施設建築物  
新築工事（Ⅱ-a街区）  
（東京都）  
※PC躯体工事**



本建物は、店舗・事務所・ホテル等を主要な用途とした複合施設です。地下2階、地上30階、延べ床面積146,422㎡、最高高さ137.0mであり、RC造一部S造の免震構造が採用されています。部材をPCa化することで省力化、工期短縮を実現しました。

当社は、柱・梁部材の製作運搬とPCa部材緊張・PCグラウトおよび現場打ち部PC緊張工事を請負い、部材はグループ会社ピー・エス・コンクリート(株)で製作しました。



### 丸亀市総合運動公園野球場 メインスタンド新築工事 (香川県) ※PC躯体工事

丸亀市の総合運動公園内に野球場が整備され、平成27年3月1日にオープンしました。本球場は、中堅122m、両翼100m、収容人数はスタンドと外野芝生席合わせて10,000人です。施設内にはフットサル等もできる屋内練習場や防災備蓄倉庫等も備えています。

当社は、PCa部材である段梁・段床版の製作・運搬・架設およびPC緊張工事を請負い、製品総重量は2,588tです。グループ会社ピー・エス・コンクリート(株)で製作した部材を現地にて組み立てました。



### 大阪中央冷蔵株式会社 本社冷蔵倉庫新築工事 (大阪府)

大阪市中央卸売市場本場に大阪中央冷蔵株式会社の新本社冷蔵倉庫を建設いたしました。

本物件はRC造、5階建て。総収容能力は約8,000tで、全階に低温荷捌きヤードを設け、入出庫時の温度管理と品質管理が徹底されています。新たな大阪の食を支える「市場の冷蔵庫」として期待されています。

## 株式会社中村環境 工場新築工事 (福島県)

本物件は、以前の工場が東日本大震災で被災したため、福島県相馬市内の別の敷地（敷地面積12,629㎡）にS造3棟（延べ床面積4,178㎡）のプラスチックリサイクル工場を新設しました。

豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、国内有数の農林水産酪農業を営み、多くの伝統文化が伝承される福島の浜通りの「ふるさと再生」の一端を担っています。



## 新丸子プロジェクト新築工事 (神奈川県)

本物件は、東急東横線の新丸子と武蔵小杉の2駅からほど近い最新ショッピング施設等の発展が著しいエリアに建設されました。地上9階建て、全戸数64戸、快適さと機能性を追求した2タイプの間取り（1K・1LDK）の賃貸住宅です。

当社の設計施工でRC造の在来工法を採用し、柱・梁を室内側に出さないアウトフレーム方式で内部の居住空間を有効に利用するデザインとなっております。





◆商号 株式会社ピーエス三菱  
P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.

◆設立 昭和27年3月1日

◆資本金 4,218,500,000円

◆従業員数 単体：1,034名  
(平成27年3月31日現在)  
連結：1,495名

◆本社・支店 (平成27年4月1日現在)

本社 〒104-8215  
東京都中央区晴海二丁目5番24号  
(03) 6385-9111

東京土木支店 〒104-8572  
東京都中央区晴海二丁目5番24号  
(03) 6385-9511

東京建築支店 〒104-8572  
東京都中央区晴海二丁目5番24号  
(03) 6385-9611

東北支店 〒980-0811  
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル  
(022) 223-8121

名古屋支店 〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル  
(052) 221-8486

大阪支店 〒530-6027  
大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー  
(06) 6881-1170

広島支店 〒730-0036  
広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル  
(082) 240-7011

九州支店 〒810-0072  
福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル  
(092) 739-7001

◆役員 (平成27年6月24日現在)

### 取締役および監査役

代表取締役社長	藤井敏道
代表取締役副社長	杉本武司
取締役	森拓也
取締役	小長光公和
取締役	塚原明彦
取締役	居村昇
取締役	鳥井博康
取締役	湊高樹
取締役	小野直樹
常勤監査役	井岡幹雄
常勤監査役	松尾潔
常勤監査役	朝倉浩

(注) 取締役鳥井博康、湊高樹、小野直樹の3氏は社外取締役であります。  
監査役井岡幹雄、朝倉浩の両氏は社外監査役であります。

### 執行役員 (※は取締役兼務)

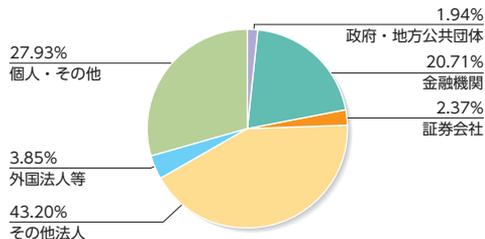
※社長執行役員 (全般統理・管理関係担当)	藤井敏道
※副社長執行役員 (社長補佐)	杉本武司
※常務執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当兼海外事業担当)	森拓也
※常務執行役員 (建築本部長)	小長光公和
※常務執行役員 (土木本部長)	塚原明彦
常務執行役員 (東京土木支店長)	蔵本修
※執行役員 (建築本部副本部長)	居村昇
執行役員 (管理本部長・CSR担当)	小山靖志
執行役員 (土木本部副本部長兼原子力室長)	鈴木義晃
執行役員 (東京建築支店長)	黒柳辰弥
執行役員 (建築本部副本部長兼建築企画部長兼建築営業部長)	正木慎一
執行役員 (大阪支店長)	川原利朗
執行役員 (九州支店長)	宮脇裕明



# 株式情報 (平成27年3月31日現在)

- ◆発行可能株式総数 11,000万株
- ◆発行済株式の総数 47,486,029株
- ◆株主数 11,390名

## ◆所有者別株式保有状況



## ◆大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
三菱マテリアル株式会社	15,860,354株	33.48%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	9.48
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,630,800	3.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,041,300	2.19
岡山県	839,740	1.77
CBLDN RE FUND 116-CLIENT AC	545,034	1.15
三菱地所株式会社	496,000	1.04
BARCLAYS BANK PLC A/C CLIENT SEGREGATED A/C PB CAYMAN CLIENTS	412,300	0.87
ピーエス三菱従業員持株会	408,895	0.86

## HPのご案内

当社のホームページでは、株主の皆様向けの情報として、財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

当社HP



<http://www.psmic.co.jp/>

IRサイト



<http://www.psmic.co.jp/ir/>

## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同総会議決権行使株主確定日	3月31日
■期末配当金受領株主確定日	3月31日
■中間配当金受領株主確定日	9月30日
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.psmic.co.jp/">http://www.psmic.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
■上場証券取引所	東京証券取引所
■単元株式数	100株

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### (ご案内)

- 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について  
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20.315%**（※）の源泉徴収税率が適用されます。  
（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。  
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。  
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができますのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォ  
ントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。